

●各種事業の展開

社会福祉協議会の事業を次のような区分で整理し取り組んでいきます。

1. 地域福祉活動の推進

①福祉ニーズの把握と情報・連絡調整機能の強化

1. 福祉ニーズの把握
2. 情報発信の強化

②地域での支え合い活動の推進

1. 地域福祉ネットワーク体制づくりと活動の推進
2. 地区社会福祉協議会の活動推進
3. 地域福祉推進員の活動推進
4. 住民主体での福祉活動の推進

③福祉人材の育成と福祉教育の推進

1. 福祉人材育成と研修の実施
2. 児童・生徒の福祉体験学習の実施

④ボランティア育成とボランティア活動の推進

1. ボランティアセンター機能とボランティアコーディネートの充実
2. ボランティアの発掘と育成
3. ボランティアの組織化と活動の支援

⑤総合相談事業の拡充

1. 身近な相談窓口の役割
2. 総合的な相談の充実

⑥生活支援・自立支援の推進

1. 子育て支援の推進
2. ひとり親世帯等への支援
3. 障がい児・者への支援
4. 在宅介護者への支援
5. 高齢者の健康生きがいと社会参加の促進
6. 生活基盤確保への支援
7. 権利擁護事業の推進



地域福祉推進員と民生委員・児童委員との合同研修



赤い羽根共同募金街頭募金活動



2. 在宅福祉サービスの充実

⑦保健・医療・福祉の連携と充実

1. 各関係機関との連携の推進

3. 社協運営の強化

⑧社会福祉協議会の基盤強化と財源の確保

1. 責任ある推進体制の確立
2. 事務局の組織・機能強化
3. 財政の安定と強化

●計画の進行管理

毎年度、計画の進捗状況を分析し、計画の推進につなげます。

計画の取り組み状況の評価

地区社協、地域福祉推進員、民生委員・児童委員等の代表による計画評価を行う会合を開き、毎年度の取り組み状況を報告し、評価と次年度の取り組みの検討につなげ、次年度に活かしていく。

また、各団体等の情報交換の機会としても活用する。

重要事項の評価

計画の取り組み状況の評価にあたっては、重要事項について、毎年度、とりまとめを行い、評価を行っていく



策定委員会（令和元年度）

第5次 甲佐町地域福祉活動計画

概要版

甲佐町社会福祉協議会では、地域での支え合いを推進するために地域福祉に関する地域福祉活動計画を策定しました。このパンフレットは、その内容をお伝えするものです。

●地域福祉について

全国一律な「社会福祉」に対し、地域福祉は「身近な暮らしの場」で、地域の福祉資源（施設や人材等）を活用し地域で工夫して進める福祉のことです。

自らや家族・親族による「自助」、地域での支え合いの「共助」、公的機関による「公助」のそれぞれの充実と相互補完を進めるものです。

●地域福祉活動計画とは

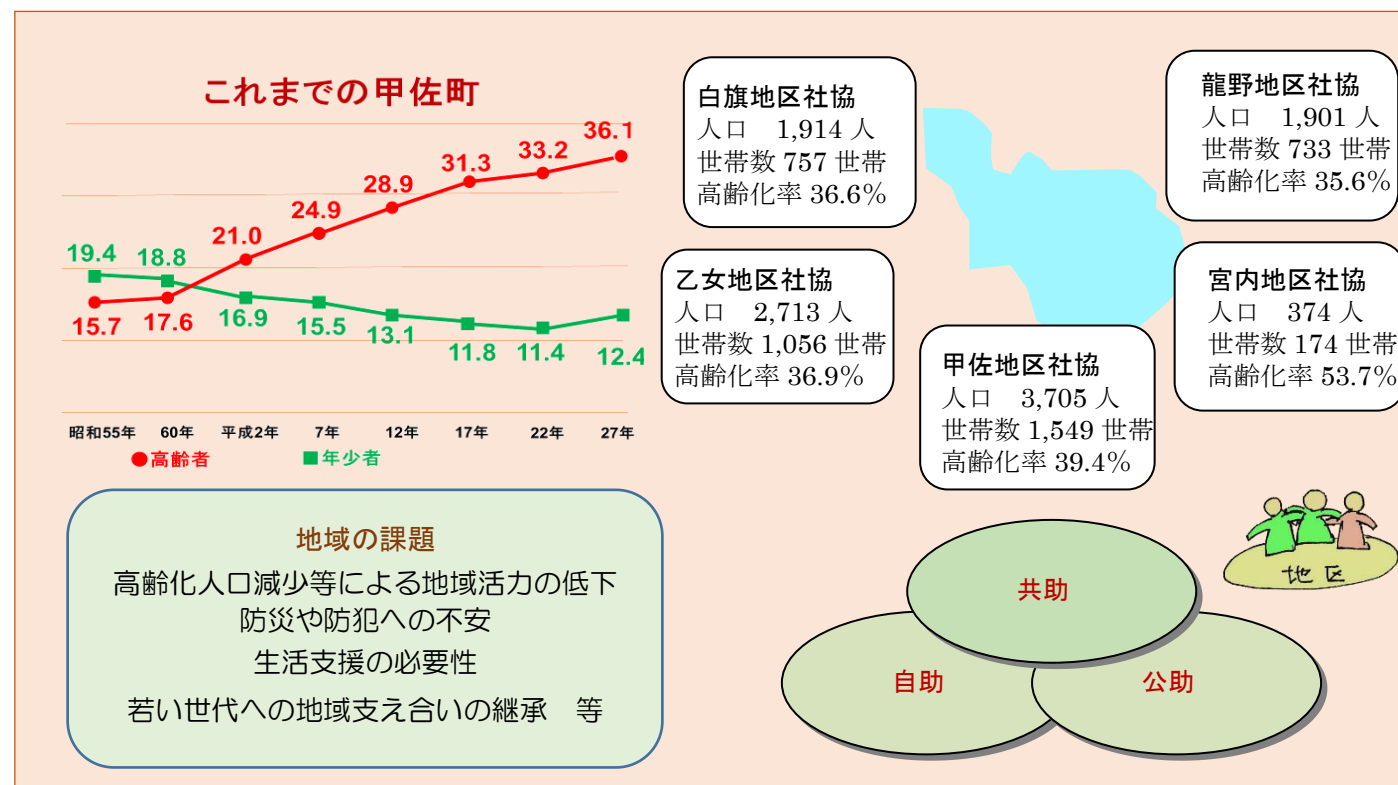
甲佐町第3期地域福祉計画（平成29年3月策定）と連携協働し、地域住民および医療・保健・福祉等の関係団体や事業者が、地域福祉推進に主体的に関わるための社会福祉協議会の今後の取り組みをあきらかにします。

●地域福祉活動計画の必要性

地域福祉はすべての住民が地域社会を構成する一員として、社会、経済、文化などのあらゆる機会に参加できるようにしていくことが目標です。

その地域福祉を推進していくためには、行政だけでなく住民が主体的に参加して、地域福祉を創りあげることが必要です。

そのため、行政の策定する地域福祉計画をもとに、民間各種団体・機関等で構成され、地域住民との密接な関係を持つ社会福祉協議会の地域福祉活動計画が、より一層の役割を果たしていきます。



●計画の基本理念と重点事項

地域の様々な課題に地域の誰もが関わり相互の支え合い（もやいの地域）を、より深めていくことをめざします。

また、社会福祉協議会で各種事業を展開していき、特に重点事項として、以下の4つを定めます。



龍野地区福祉座談会



甲佐地区福祉座談会

計画の基本理念

みんなで支え合う
もやいの
まちづくり



宮内地区福祉座談会

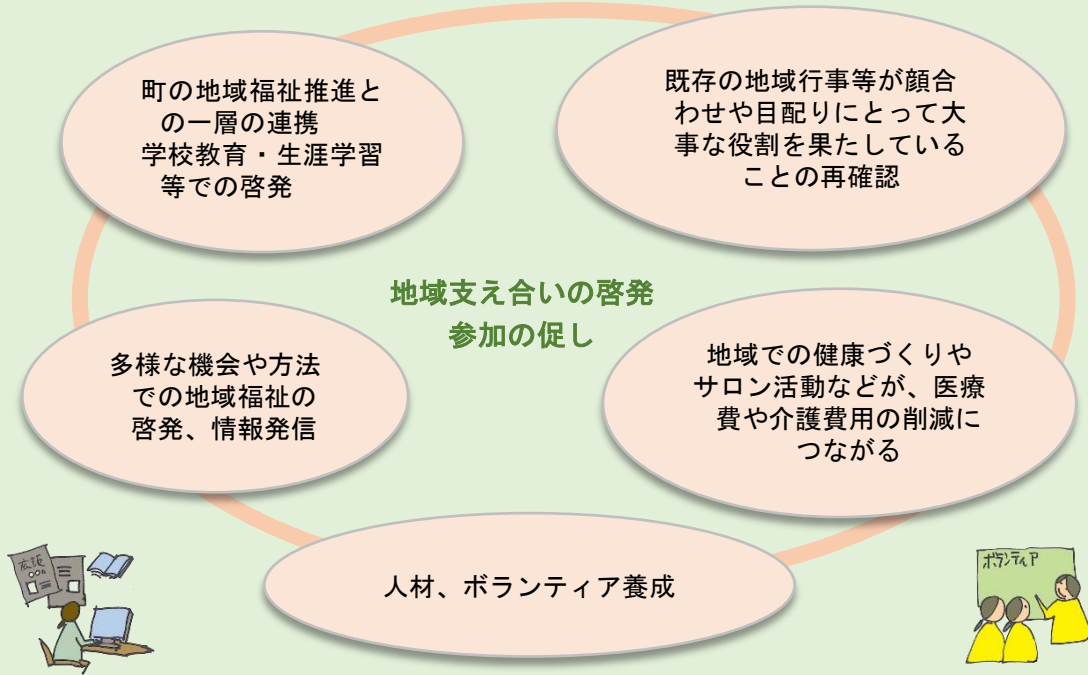


乙女地区福祉座談会

計画の重点事項

●地域支え合いの大切さの啓発

地域福祉自体の大切さへの理解や、支え合い活動への参加を促していく。



●防災・防犯をテーマとした地域の交流（熊本地震の教訓から）

世代を超えた地域での取り組み事項とし、防災・防犯を通じた地域支え合いを進めていく。

避難への備え

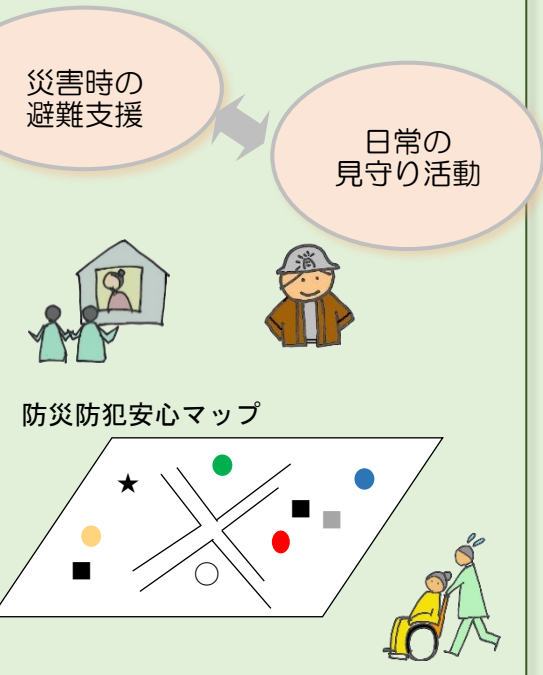
自分での避難が難しい高齢者や障がいのある人、乳幼児を持つ世帯等の近所での確認

日頃の目配り、見守り

地区での防災や防犯への取り組みの中で、日頃の声かけや目配りでの信頼関係

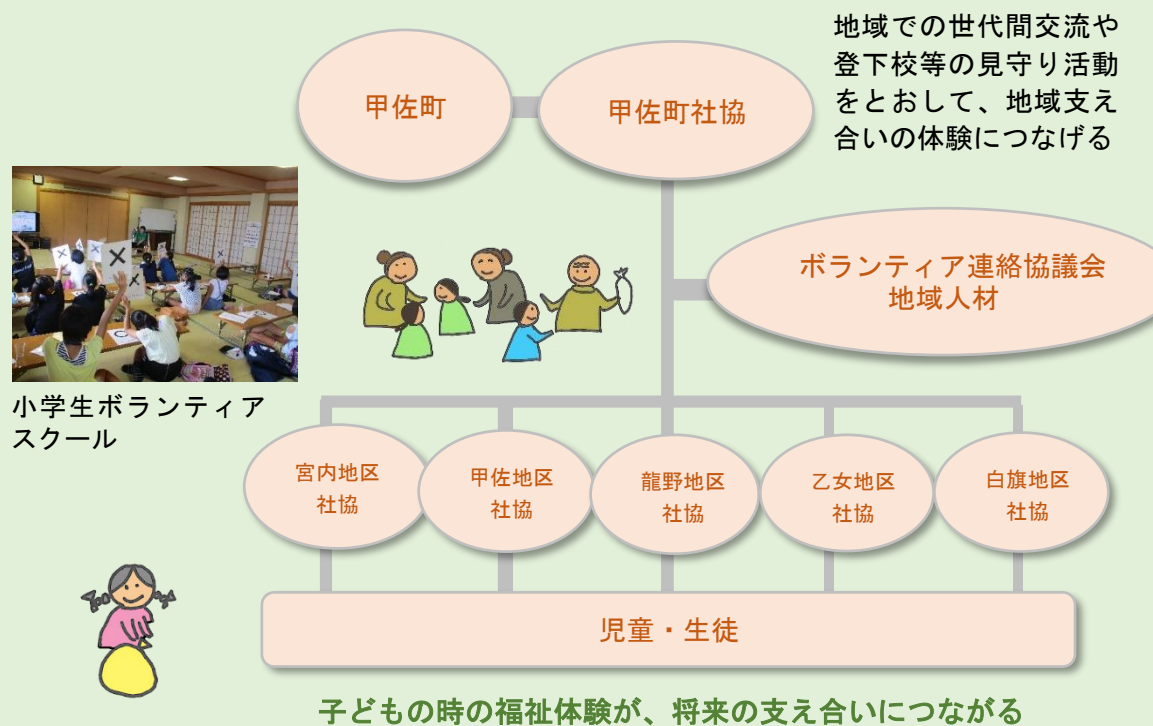
凡例

- ひとり暮らし高齢者（女性）
- ひとり暮らし高齢者（男性）
- 高齢者だけの世帯
- 障がい者
- その他（日中ひとりの高齢者等）
- 消火栓 ■防火水槽
- ★避難場所 ○危険箇所



●子ども達と福祉とのつながりづくり

子ども達に地域福祉の学習や体験を通して、地域支え合いを次世代につないでいく。



●近隣での生活課題への気づき・目配りと生活支援

様々な生活課題を抱える世帯や人を見逃すことなく、そして総合的な支援につないでいく。

見守りのネットワーク

ご近所だからこそこの気づきと専門機関へのつなぎ
例：虐待や介護負担、生活困窮、精神的課題等への気づき

ご近所でしかできない日頃の目配り・声掛け等の支援を担当

